

学習指導案 6 / 9

(1) 指導目標

「雨のうた」のイ短調とハ長調の和声の響きを聴きながら、自分の音を友達の音と調和させて合奏ができるようにする。

(2) 展開

過程	学習活動	教師の指導 (○)・支援 (●)・発問 (★)	評価規準と評価方法
導 入	0 音楽遊びをする。	○ミュージックベルで和音づくりをして、楽しく学習が始められるようにする。	
	1 めあてをつかむ。	○「雨のうた」の範唱を聴き、合奏のイメージをつかませるようにする。	
展 開	イ短調とハ長調の響き生かして、合奏をしよう。		
	2 イ短調とハ長調の和声の響きを感じ取りながら演奏の仕方を工夫する。 (1) 担当するパートを選ぶ。	○グループで工夫をした後に、全体で工夫することを伝え、本時の学習に見通しをもたせるようにする。 ○6～8人のグループをつくり、互いに感想や助言を伝え合いながら、練習ができるようにする。 ○主な旋律と副次的な旋律を担当する児童には、4・5時目の学習を生かして演奏の仕方を考えるように伝える。	
	(2) グループで工夫するポイントや気を付けることを話し合う。	○前時までの学習を振り返らせ、工夫を重ねる必要があるポイントをグループで2～3つ決めさせる。 ○グループごとに表現を工夫するとき気を付けることを考えさせ、目的をもって練習ができるようにする。 ○楽譜でイ短調とハ長調の部分を確認し、それぞれの部分について、演奏の工夫や気を付けることを考えることができるようにする。 ○見通しをもちやすくするために、練習の仕方の例を示したり、助言したりする。	
		★曲のよさや面白さが伝わるように、それぞれの練習のポイントについて、どのような方法で練習をすればよいと思いますか。	
		○30分後に成果発表をすることを伝え、計画的に練習を進めさせるようにする。	



## 〈評価規準と評価方法〉

「雨のうた」の各声部の音やイ短調及びハ長調の和声の響きを聴きながら，自分の音を友達のと調和させて合奏している。【技② ワークシート・演奏聴取】		
十分満足（A）と判定する目安	おおむね満足（B）と判定する目安	●表現の技能が身につけていない児童には，適宜，個別で技能の習得につながるような助言を行い，手本を示しながら練習させるようにする。ペアや個別で練習ができる場所を設け，練習ができるようにする。
イ短調とハ長調の和声の響きの違いが伝わるように強弱や速さを工夫した演奏をし，拍の流れにのって正しい音程で間違えずに演奏することができる。	イ短調とハ長調の和声の響きの違いが伝わるように，強弱や速さを工夫した演奏ができている。	